

令和4年度

第2回

三木市社会教育委員会

会議資料

日 時：令和5年3月20日（月）

午前10時から

場 所：市役所 5階 大会議室

目 次

令和4年度事業の実績及び令和5年度計画案について

頁

(1) 生涯学習課、公民館

1	地域のまちづくりに関すること	1
2	生涯学習の推進に関すること	4
3	社会教育団体の育成支援に関すること	5
4	まなびの郷みずほに関すること	6
5	別所ふるさと交流館に関すること	6
6	成人式に関すること	7
7	三木ホースランドパークエオの森研修センターに関すること	7
8	市内10公民館の取組	10

(2) 文化・スポーツ課

1	令和4年度 社会教育事業実施状況	20
2	令和4年度 社会体育事業実施状況	24
3	令和4年度 美術館事業実施状況	26
4	令和5年度 社会教育施策実施予定	29
5	令和5年度 社会体育事業実施予定	31
6	令和5年度 美術館事業実施予定	32

(3) 教育センター	
1 生涯学習に関する事	33
2 青少年教育に関する事	33
3 青少年の非行防止と健全育成に関する事	33
4 令和5年度三木市立教育センター事業一覧	35

(4) 図書館	
1 令和4年度の成果と課題	36
2 図書館事業実施状況	36

(5) 人権推進課	
1 令和4年度 人権尊重の文化に満ちたまちづくりに かかる事業の実施状況	44
2 令和5年度 人権尊重の文化に満ちたまちづくりに かかる事業の実施計画	46
3 令和4年度 各地推協活動実施状況集計	47

その他

令和5年度 東播磨・北播磨地区社会教育委員協議会事業計画予定	
令和5年度 兵庫県社会教育委員協議会関連日程予定	49

生涯学習課、公民館

1 地域のまちづくりに関すること

まちづくりを推進するため、地域団体と公民館が一体となり事業を実施しました。各地域において、地域間交流、地域防災訓練、地域課題の解決へ向けての市民協議会の活動を進める中で、地域の誇りづくりや、地域の交流拠点としての公民館の機能を高めることができた。

(1) よろず相談事業 209件 (令和5年1月末現在)

内容	提言	要望	意見	苦情	質問	他	軽微
件数	0	3	7	6	19	0	174

(2) 地域間交流事業

地域名	主な交流事業
三木	乳幼児教室、女性かがやきセミナー、高齢者教室（地域外オープン参加を含む）、地域ふれあい文化祭、町家・町中コンサート、みそづくり教室、サマースクール（小学生対象）、珈琲倶楽部
三木南	生涯学習講座における地域交流事業、シニアスポーツ地域交流事業、文化活動交流事業（作品展・発表会）、三木南・別所両地推協の人権交流学習
別所	別所げんきまつり、三木南・別所地推協の人権交流学習会、女性セミナー、高齢者教室、男の料理教室
志染	乳幼児教育学級交流（細川町地区）、乳幼児教育学級（地域外乳幼児も参加）、サマースクール（緑が丘・青山公民館と合同開催）
細川	乳幼児教育学級（志染地区）、みずほ交流キャンプ（口吉川地区）、細川地域学校
口吉川	みずほ交流キャンプ（細川地区）
緑が丘	サマースクール「デイキャンプ」（志染地区・青山地区） 緑が丘中学校区交流「ボッチャ大会」（志染地区・青山地区）
自由が丘	ウォーキングフェスティバル
青山	女性セミナー・高齢者教室（オープン参加） サマースクールデイキャンプ（緑が丘地区、志染地区）
吉川	文化祭、文協展、コーヒーくらぶ、高齢者教室、女性セミナー等 吉川町民ふれあい納涼大会

(3) 地域防災訓練の取組

地域名	主な訓練内容
三木	防災研修「男女(ともに)に学ぼう防災」
三木南	本年度は事業を中止し、次年度に実施予定
別所	地域防災研修（自治会役員と民生児童委員が中心になって「地域支え合いマップ」を作成）
志染	県広域防災センターでの防災訓練（講義・体験型学習・訓練）、防災研修（組織の確認と支え合いマップ及び防災マップの見直し）
細川	自主防災組織体制の確認、簡易トイレ・マンホールトイレ組立体験
口吉川	総合防災訓練（令和4年11月13日 於：口吉川町公民館） 内容 防災講話「災害時の初期対応」、防災用品使用体験、電気自動車給電体験

緑が丘	新型コロナ感染拡大により町全体での防災訓練が中止となったため、防災啓発パンフレット「自宅でできる防災訓練」(改訂版)を作成し全世帯に配布した。地域の状況に絞り込んだ「ハザードマップ」の読み方、避難先、情報入手の方法や自宅での備えについて啓発する。
自由が丘	自由が丘連合自主防災訓練(令和5年1月15日於:自由が丘公民館・中央公園)避難物資仕分け訓練、要援護者安否確認、避難誘導、倒壊家屋救出・救急搬送訓練、救命・救護訓練、初期消火訓練、避難所生活体験訓練、給水訓練、簡易トイレ設置訓練、簡易担架作成搬送訓練、放水訓練などを行った。
青山	各自治会代表者が公民館に集まり、みきジュニア防災クラブの被災地支援活動の様子プレゼンを聴いて研修を積む。その後、グループに分かれて公民館内の備蓄品の確認、段ボールベッドの組立て等を行い、最後に防災食(カレー)を試食した。
吉川	防災減災研修会において、ハザードマップの見方などパワーポイントを使用した研修を行った。

(4) 各市民協議会(市内10地域)の活動

地域名	結成日	組織名	主な活動
三木	H23. 3. 16	三木地区ふれあい交流事業推進委員会 (愛称:ふれっぴーみき)	花いっぱい運動、七夕まつり、町家・町中コンサート、お月見会、おひなまつり会、地域ふれあい文化祭、珈琲倶楽部、地域特産品開発講座(養蜂)、広報紙発行など
三木南	H22. 4. 1	三木南ふれあいプロジェクト	世代交流、地域交流、暮らし生活、防犯防災、環境美化、スポーツ、子育てサポート、人権啓発、広報、認知症予防、地域内バス交通、見守り活動など
別所	H21. 4. 1	別所まちづくり協議会	納涼大会シークレット花火、防災研修、シャフルボード大会、ハイキング、別所げんきまつり、文化祭、青色防犯パトロール、クリーンキャンペーンなど 中止:農業まつり
志染	H21. 3. 26	志染ふれあい委員会	町民文化祭、三世代交流グランドゴルフ大会、地域防災訓練、歴史散策、クリーン作戦、地域づくり研究大会広報など
細川	H21. 2. 19	細川町豊かな町づくり推進協議会	釣り大会、夏まつり(中止)、文化祭(展示のみ)、細川地域学校(3回)藤原惺窩まつり、グラウンドゴルフ大会、人権推進大会、支えあい協働会議・防災研修会、ニュースポーツ大会、スキー・スノーボード教室、買い物バス体験、広報発行、町協HP・地域学校HP・LINE公式アカウント情報発信
口吉川	H21. 11. 2	口吉川ふれあいまちづくり協議会	実施:ふれあいバス運行、高齢者宅果物配布、ハイキング、防災訓練 中止:盆踊り、文化祭、敬老会
緑が丘	H21. 4. 18	緑が丘町まちづくり協議会	実施:クリーン作戦、文化祭、紙ひこうき大会、まちづくり講演会、防災啓発パンフレット作成、まちづくり推進大会

			中止：ふるさと祭り
自由が丘	H23.4.1	自由が丘市民協議会	ウォーキングフェスティバル、自主防災訓練、文化祭、広報研修会、人権研修、環境研修、フリーマーケットなど
青山	H24.3.31	青山まちづくり協議会	ラジオ体操、広報発行、子育て支援事業。夏まつり、敬老会は今年度も中止したが、グラウンドゴルフ大会、文化祭、自主防災訓練は感染対策を講じ、工夫して開催した。
吉川	H22.3.25	吉川町まちづくり協議会	実施：吉川町民ふれあい納涼大会、グラウンドゴルフ大会、広報発行、文化祭、防災減災研修会 中止：敬老会、歴史ふれあいハイキング

(5) 課題と今後の取組

市民協議会の実施事業では、地域住民、世代間の交流事業に加え、他地区との交流も定着してきている。これまで市民協議会に対し、まちづくり研修会を実施してきたことにより、課題検討等のための部会を設置する地区もあり、各地区で地域課題について話し合う機会づくりや解決に向けた取組が始まっている。

併せて、各地区に配置している地域まちづくり担当に対しても、それらの取組を支援できるよう研修を実施している。市民協議会の自主的・主体的な取組を促進し、自主・自立を目標に組織力の強化や運営面で側面的支援を行う。

2 生涯学習の推進に関すること

家庭の教育力の向上について重点を置き、家族の絆を深めるための親子行事や交流の場づくりを進めるとともに、女性セミナー、高齢者教室など、ライフステージに応じた生涯学習講座を実施した。

(1) 公民館の生涯学習講座

豊かな知識と教養を身につけてもらうために、乳幼児学級、家庭教育学級、女性セミナー、高齢者教室、各種専門講座など、ライフステージに応じた生涯学習講座を実施した。

(2) みっきい生涯学習講師派遣事業の実施状況（令和5年1月末現在）

知識及び技能を有し、それを地域社会に役立てたいと考えている方を講師として登録し、各種活動団体の要望に応じて派遣した。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による会合等の自粛が少しずつ緩和されたため、派遣回数が増加傾向にある。

・講師登録者数 88名

・派遣回数 58回

内訳	スポーツ、レクリエーション	6回
	家庭・社会生活	13回
	文化芸術	14回
	教養	4回
	その他	21回

(3) コミュニティ形成事業

例年、10地域で、納涼大会、文化祭、地域防災訓練、グラウンドゴルフ大会、バレーボール大会、ソフトボール大会、七夕まつり会などの事業を実施しているが、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止した事業もある。

(4) 地域と学校の連携・協働体制推進事業

平成29年度10月から地域と学校が連携・協働して、地域全体で子どもたちの成長を支えていく活動を行うための体制づくりを構築するために「地域と学校の連携・協働体制構築事業」を実施している。例年、市内小中学校、各公民館で地域と連携した活動を実施しており、令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたが、実施事業数は16となり、前年度よりは増加した。

(8、9ページ参照)

(5) 課題と今後の取組

公民館の各種講座や事業等で、多様化するニーズに対応するために、講座内容の充実を図る。参加者が学ぶだけでなく、講座で学んだことや知識を活かせる場や機会を提供していく。また、30～40歳台の中間世代の市民がより多く参加できる講座を実施していくことにより、次世代のみっきい生涯学習講師や地域の核となる人材育成に努める。

「地域と学校の連携・協働体制構築事業」は、現在のところ、統括コーディネーターを中心に地域や学校と連携して実施している。今後は地域の実情に合わせて、各地域の地域学校協働本部の設置や地域学校協働活動推進員の配置をめざす。

3 社会教育団体の育成支援に関すること

(1) 連合PTA（会員数：5,162名）

連合PTAは、三木市内小・中学校の単位PTAをもって組織されていることから、単位PTA相互の連絡提携を図るため、例年、総会及び第1回理事会を5月に開催し、第2回理事会を12月に開催するとともに、PTA活動の振興発展を目的とした指定校による研究発表会を2月に開催するなど様々な活動を実施している。

(2) 子ども会育成会連絡協議会（会員数：707名）

子ども会育成会連絡協議会は、三木市内各地区子ども会の連絡調整を図るため、4月、5月、10月、2月に理事会を開催している。

(3) 課題と今後の取組

連合PTAは、小・中学校の単位PTA活動とは別に連合PTA独自の活動や行事等があるため、特に小・中学校19校の単位PTAから2名ずつ選出されている38名の理事と、さらに理事の中から選出されている会長と副会長にかかる負担が大きい。そのため、今後も負担軽減が図れるように活動内容を見直しつつ支援をしていきたい。

子ども会育成会連絡協議会は、少子化等の影響により、加盟地区が減少し、現在のところ市内10地区のうち2地区の加盟となっている。

少子化が進む中ではあるが、今後も「ともだちキャンプ」を中心とした事業を支援し、子どもを中心に据えた青少年健全育成活動の促進と活性化を図る。

4 まなびの郷みずほに関すること

(1) 高齢者大学について

ア 大学 学生数 88名 (内令和4年度入学者 38名)

イ 大学院 学生数 36名 (内令和4年度入学者 26名)

ウ 課題と今後の取組

大学入学者数については、コロナ禍による入学控えなどを理由に、昨年度は12名と少なかったものの、今年度は38名と増加しているが、平成26年度以前の平均入学者数(65名)までには至っていない。

入学要件の緩和や公民館の高齢者教室や各種団体への呼び掛け、市広報誌、市記者発表、大学ホームページ、FMみっきいなど、入学生の募集をあらゆる手段で市民に発信するとともに、今年度も学生たちが魅力ある大学生活、大学院生活を過ごすことができるように年間講座カリキュラムの充実を図っている。そして、地域のためにその知識や経験を生かすことのできる人材を、より多く輩出できるように努めていく。

(2) まなびの郷みずほの活用について

高齢者大学や老人クラブ連合会の利用だけではなく、地元地域と市内各地域との交流を図るため、地元団体と施設利用者で構成する「まなびの郷みずほ活用連絡会」が主体となって、例年、細川地区、口吉川地区の児童を対象とした「交流キャンプ」を開催している。

(3) 課題と今後の取組

現在、高齢者大学、老人クラブ連合会、地元団体の利用が中心となっているが、今後、利用団体や小中学校、市民協議会などとのタイアップ、また他地区との団体などとも交流できる事業実施により、より活発な地域間、団体間、世代間交流を促進する。

5 別所ふるさと交流館に関すること

(1) 主な事業

ア 「さとの会」定例会 月1回(会員7名)

イ 喫茶店営業 コーヒー販売:毎週水曜日から日曜日

ウ 埋蔵文化財の展示

エ テニスコート

(2) 課題と今後の取組

地域の管理団体「さとの会」が、地域活性化につながる喫茶店を営業している。

「さとの会」の活動内容を、ポスターやチラシ等で広く市民に周知し、会員の増員と安定した会の運営に努めているが、発足当時10名以上いた「さとの会」

会員も徐々に減り、現在の常時活動者は7名にまで減少している。

今後も、会員数の減少、現会員の高齢化により、活動規模を縮小していくことにはなるが、地元市民協議会との連携や協力、他地区イベントなどへの積極的な参加によって、別所ふるさと交流館をPRするとともに、施設利用者の増や活動の活性化を図り、三木市の西の玄関口として賑わいづくりに努める。

6 成人式に関すること

20歳という人生の節目を迎えた方及びこれから20歳を迎える方に、改めて大人になったことの自覚を促すとともに、その前途を祝福するため、「三木市二十歳の祝典」を開催した。昨年度までは、新型コロナウイルス感染症防止対策として2部開催で時間短縮のうえ実施していたが、令和4年度は、3年ぶりにコロナ禍以前の1部開催で実施した。

(1) 実施状況

事業名	実施日	実施場所	参加者
令和4年度 三木市二十歳の祝典	1月8日	文化会館大ホール	515人

成人式実行委員会 13人

実行委員会開催日 5回開催

(2) 課題と今後の取組

二十歳の祝典実行委員会については、毎年20歳になる方の中から実行委員を募り、今年度は5回開催した。

現在のところ、実行委員会では、主に式典でのアトラクションや催し並びに記念品の検討などについて話し合っている。

7 三木ホースランドパークエオの森研修センターに関すること

指定管理者制度により運営、管理を行うとともに、エオの森研修センターの老朽化した施設や設備の修繕等を行った。

また、コロナ禍であるため一般の宿泊者数は減少傾向であるが、市内の自然学校等の受入れだけでなく、近隣市町の学校への営業活動により、新たに市外の学校の自然学校等の受入れをすることができた。

令和4年度 学校・家庭・地域の連携協力推進事業 地域学校協働活動一覧

地区	実施場所	実施日	事業区分	対象	人数	事業名	内容	指導者	人数
1 別所	別所小	R4.11.9	学校支援	小学生	35	花植え教室	地域老人クラブに指導を受け、花植えをした。	地域住民	5
2 別所	別所小	R5.1.25	学習支援	小学生	35	昔遊び教室	地域住民に指導を受け、昔遊びを体験	地域住民	10
3 口吉川	口吉川小	R5.1.12	学習支援	小学生	42	書初め指導	書初めの指導を受け、作品を公民館の文化祭にて展示	地域住民	1
4 細川	豊地小	R5.1.19	学習支援	小学生	16	昔遊び教室	地域住民に指導を受け、昔遊びを体験	地域住民	10
5 自由が丘	自由が丘小	R4.6～R5.2	学習支援	小学生	223	クラブ活動	クラブ活動の時間に地域の方を指導者として迎え、支援いただいた。	地域住民	4
6 自由が丘	自由が丘東小	R4.5～11	学習支援	小学生	45	菊づくり教室	地域に在住の菊づくり名人の指導を仰ぎながら、5年生児童が菊づくりに挑戦した。	地域住民	1
7 吉川	吉川小	R4.7～R5.2	学習支援	小学生	193	読み聞かせ	地域住民による児童への読み聞かせを行い、読書への関心を高める。	地域住民	3
8 吉川	吉川小	R4.7～R5.2	学校支援	小学生	193	図書室環境整備	地域住民が図書環境の整備を行い、読書への関心を高める。	地域住民	3
9 吉川	吉川小	R5.3.2～3	学習支援	小学生	29	そろばん教室	算教科の学習の一環として、そろばん教室を実施	地域住民	1
10 緑が丘	特別支援学校	R4.11.11	学校支援	小学部	9	花植え教室	地域老人クラブに指導を受け、花植えをした。	地域住民	12
11 三木南	三木東中	R4.10.29	学校支援	中学生	40	保護者及び生徒による花壇の植栽活動	保護者・地域住民と共に学校の環境美化に努めた。	保護者	20
12 緑が丘	緑が丘中	R4.9.8、15、22、29	学習支援	中学生	18	水墨画体験教室	美術部員が水墨画の指導を受けた。	地域住民	5

13	自由が丘	自由が丘中	R4.6.10～ R5.2.24	学校支援	学校環境整備	中学生	362	図書室開放ボランティア	図書室の開館、運営、図書 の整理、新刊本の紹介等 を行った。	地域住民	8
14	吉川	吉川中	R4.7.15 R4.11.11	学校支援	学校環境整備	中学生	3	花壇植栽活動	地域老人クラブに指導を 受け、花植えをした。	地域住民	5
15	自由が丘	自由が丘公	R4.7.25～29 R4.8.22～26	学習支援	補充学習	小学生	300	自由っ子未来塾	地域住民ボランティアに よる学習支援	地域住民	9
16	青山	青山公	R4.8.8～10	学習支援	補充学習	小学生 中学生	10	おかたづけのお部屋 2022	地域住民ボランティアに よる学習支援	地域住民	5

8 市内10公民館の取組

(1) 中央公民館

ア 本年度の活動目標

～人と人、心と心がふれあうまちづくり～

- ① 生涯学習の充実と多世代が集い、興味関心を持ち自ら学ぶ「場の提供」の推進
- ② 人と人との絆を深め、共生の心を育む人権教育・学習の推進
- ③ 「三木地区ふれあい交流事業推進委員会（ふれっぴー みき）」「三木城下町まちづくり協議会」等、地域住民が主体となったまちづくりの支援

イ 成果と課題

- ① 生涯学習の充実と多世代が集い、興味関心を持ち自ら学ぶ「場の提供」の推進

【成果】 コロナ禍、感染対策を講じながら、従来に近い形で講座を開催することができた。また、小学生向けのプログラミング教室や、高齢者の健康に関する講座など、新しいニーズに応えた講座の開設もできた。特に、高齢者教室では、受講生に合わせ、興味を持って参加していただけるようにできた。また、乳幼児学級は、保護者達の情報交換の場となった。

【課題】 3月に実施予定のドローン教室のように、子どもや若い世代も含めた幅広い年代層のニーズに応えた講座の開設により、利用者を増やして行くことが大切になる。そして、多世代のコミュニティの場になるように一層工夫していく必要がある。

- ② 人と人との絆を深め、共生の心を育む人権教育・学習の推進

【成果】 住民学習会は、コロナ禍に伴う規制がある中でも、開催方法や内容を工夫することで昨年度実績を上回る開催報告を受けている。また、開催方法の工夫で、若い世代の参加者も増えた。さらに、生涯学習講座の中で、人権に関する講座や現地視察会などを行うことができ、有意義な研修会を開催することができた。

【課題】 コロナ禍の規制に伴い、昨年度から住民学習会での指導者の要請が少なくなっている。規制緩和が進む中、集会形式の際には指導者も交えた形の住民学習会を増やしていく必要がある。

- ③ 「三木地区ふれあい交流事業推進委員会（ふれっぴー みき）」「三木城下町まちづくり協議会」等、地域住民が主体となったまちづくりの支援

【成果】 コロナ禍で昨年度中止になった事業も、規模を縮小しながら多くの方が集う事業として開催できた。また、市民協議会との情報交換の会議が開催でき、前向きにまちづくりについて協議することができた。

【課題】 地域住民が主体となり、地域のまちづくりを進める市民協議会となるように、組織の在り方も含めて支援を継続していく必要がある。

ウ 来年度に向けた活動方針（案）

- ① 新たなニーズに応え、多世代が交流できる講座やイベントの充実
- ② 新たな人権課題や地域課題に主導的に取り組む人権教育・学習の推進
- ③ コロナ禍に対応し、「三木地区ふれあい交流事業推進委員会」・「三木城下町まちづくり協議会」の地域住民が主体となったまちづくりの支援

(2) 三木南交流センター

ア 本年度の活動目標

～交流と学びの充実、そして人にやさしく元気な三木南地区に～

- ① 「三木南ふれあいプロジェクト」と連携した住みよいまちづくり活動の推進
- ② 学びの充実と世代を越えた交流の推進
- ③ 人にやさしい人権教育・啓発活動の推進
- ④ 生涯スポーツを通じた仲間づくりと健康づくりの推進

イ 成果と課題

- ① 「三木南ふれあいプロジェクト」と連携した住みよいまちづくり活動の推進

【成果】 三木南地区の地域課題で、(1)「認知症を学びその予防に向けた実践」、(2)「地域ふれあいバスの検討」、(3)「地域の魅力発信」などに取り組んだ。

それぞれで部会や検討グループを作り、認知症予防プログラムの実施、バス運行に関する高齢者アンケート、バス停やルートの検討、子ども主体のイベントの計画など、3つの取組を次年度に繋げることとなった。

【課題】 コロナ禍において依然として不透明な状況にある。そんな時こそ身近な生活課題を見つめ直し、健康に楽しく暮らせるまちづくりが必要となる。

- ② 学びの充実と世代を越えた交流の推進

【成果】 “楽しく学ぼう”をテーマとし、年齢と課題に応じた教養講座や体験講座を開催した。同時に、自主サークルやグループに活動と発表の場を提供するとともに団体運営を支援した。

【課題】 各種講座やセミナーを企画する職員の指導力を向上させるとともに、参加者自身が講座運営に主体的に関われる環境をつくることが重要である。

- ③ 人にやさしい人権教育・啓発活動の推進

【成果】 コロナ禍により少人数や家族単位での学びの場となり、子どもの参加もあったため家庭内で人権意識を共有することができた。

【課題】 自ら学び行動する若い人を育てるため、それに適した教材を選定するとともに、その指導体制をつくりリーダーを養成すること。

- ④ 生涯スポーツを通じた仲間づくり・健康づくりの推進

【成果】 子どもから高齢者までが生涯にわたってスポーツに親しめるよう、三木南交流センターの体育施設を開放することで定期的なスポーツ活動の場を提供している。また、スポーツクラブ主催の各種スポーツ教室を支援するなど、生涯スポーツの振興を図るとともに健康づくりに寄与することができた。

【課題】 スポーツ活動を行う上での多様なスポーツニーズに迅速に対応できる環境づくりが重要となる。

ウ 来年度に向けた活動方針（案）

- ① 公民館活動と住みよいまちづくり活動の連携
- ② 誰もが安全で安心して参加できる体制づくり

(3) 別所町公民館

ア 本年度の活動目標

～ 人と人とのつながりのある地域づくり ～

- ① ライフステージに対応した講座の充実と地域課題・社会情勢に直結した生涯学習の推進
- ② 人権尊重のまちづくりをめざし、館内外における人権啓発の推進
- ③ 自主防災組織のさらなる活性化に向けた支援
- ④ まちづくり協議会や各種団体と協働し、地域づくりとまちのにぎわいづくりを支援

イ 成果と課題

- ① ライフステージに対応した講座の充実と地域課題・社会情勢に直結した生涯学習の推進
【成果】スマホ体験教室やフレイル予防、食事術など、地域課題に即した学びの機会を提供することができた。
【課題】住民ニーズは多様化しており、様々なテーマの集いやセミナーの場を提供していく必要がある。
- ② 人権尊重のまちづくりをめざし、館内外における人権啓発の推進
【成果】住民学習では、啓発DVDを視聴する方法に加えて、「LGBTを知っていますか」をテーマとした啓発動画を各家庭で視聴する方法を取り入れ実施し、15地区全地区で住民学習を開催できた。
【課題】コロナ禍の中で開催できなかった地区もある「集い有っての住民学習」「参加してほっとしたといえる住民学習」をめざして人権学習を行っていく必要がある。
- ③ 自主防災組織のさらなる活性化に向けた支援
【成果】別所まちづくり協議会と連携をして「地域防災訓練」として災害初動時の要援護者への支援、「地域支え合いマップ」の作成により訓練を実施した。
【課題】自治会役員や民生児童委員の間でさらに要援護者などの情報共有をすすめ災害時に備えていく必要がある。
- ④ まちづくり協議会や各種団体と協働し、地域づくりとまちのにぎわいづくりを支援
【成果】コロナの状況であっても住民間の深めるために、納涼大会シークレット花火や町民文化祭などのイベントを開催してきた。
【課題】新型コロナで大規模イベントの中止が3年間続き、実施するノウハウを知っている人が少なくなったり意識が薄れてきていないかが危惧される。

ウ 来年度に向けた活動方針（案）

- ① ライフステージに対応し、地域課題・社会情勢に直結した生涯学習の推進
- ② 人権尊重のまちづくりをめざし、館内外における人権啓発の推進
- ③ 自主防災組織と民生児童委員など関係者の情報共有と連携の推進
- ④ まちづくり協議会や各種団体と協働し、地域づくりとまちのにぎわいの再構築

(4) 志染町公民館

ア 本年度の活動目標

～ ころころ通う、人がやさしいまちづくり ～

- ① 「志染ふれあい委員会」の地域づくり活動を支援
- ② 人権教育・啓発の推進
- ③ ライフステージに対応した生涯学習の推進

イ 成果と課題

① 「志染ふれあい委員会」の運営を支援

【成果】 「志染ふれあい委員会」の事業で、コロナ禍により町民納涼大会・敬老会は昨年同様に中止になったが、三世代交流グラウンドゴルフ大会や地域防災訓練は縮小し感染防止対策しながらも開催できた。3月の文化祭も規模縮小で開催予定である。

【課題】 納涼大会や敬老会など、密を避けて開催する方法が見つからない。また委員会メンバーの多くが毎年交代するため、継続的な取組になるような支援も必要である。また中学校跡地利活用の更なる進展や地域交通の課題についても部会で協議を積み上げたい。

② 人権教育・啓発の推進

【成果】 全自治会での住民学習会や、地域づくり研究大会、館外人権研修は、コロナ感染防止対策しながら計画通り実施できた。公民館主催の人権講座や利用団体講座も開設できた。

【課題】 住民学習会や地域づくり研究大会・人権研修など、コロナ感染防止対策で参加者数を制限し実施したので、啓発や推進の難しさを感じるが、継続していく大切さを地域の人たちに浸透させていきたい。

③ ライフステージに対応した生涯学習の推進

【成果】 生涯学習講座の開催をはじめ、「ふれあいサロンしじみ」「ふれあいコース」などで、工夫をしながらふれあいや交流の拠点となった。また講座後のアンケートで参加者の学びのニーズを把握しようとした。

【課題】 他館との交流方法、参加者層が広がる講座の工夫、地域ニーズ把握のための効果的なアンケート方法や内容の検討も試みたい。

ウ 来年度に向けた活動方針（案）

- ① 「志染ふれあい委員会」の自主的活動に向けての支援
- ② 参加者と地域のニーズの把握に努め、魅力的な生涯学習の開催
- ③ 新型コロナ感染防止対策を踏まえた人権教育・啓発の推進

(5) 細川町公民館

ア 本年度の活動目標

～公民館で 学ぼう！ 集まろう！ つながろう！～

- ① ライフステージ・地域課題・社会情勢に対応した生涯学習の推進
- ② 人権尊重のまちづくりをめざした人権教育・啓発の充実
- ③ 町づくり協議会と連携した公民館利用促進と地域コミュニティ形成事業の充実

イ 成果と課題

- ① ライフステージ・地域課題・社会情勢に対応した生涯学習の推進

【成果】 乳幼児教育学級・ゆとり講座・高齢者教室は予定通り開催できた。

ゆとり講座「ヨガ教室」の受講生をもとに、後日、サークルが組織され自主的な活動が始められている。

【課題】 コロナの影響で参加者数は減少傾向にあるが、参加者のニーズに合わせた講座内容の見直しや広報活動の充実が必要である。

- ② 人権尊重のまちづくりをめざした人権教育・啓発の充実

【成果】 コロナ禍の影響を受け、昨年と同様、住民学習の開催方法・教材を自治会ごとに選択することとした結果、349世帯、町人口の26.8%にあたる491名の参加者があり、初めての参加者が約12.2%を占めた。

また住民学習の取組報告を公民館だより「地推協だより」として掲載して全戸配布し、人権課題についての町民の意識の高揚につなげることができた。

【課題】 家庭での学習形態を選択する自治会が多く、子ども・女性の参加者の増加、家庭内での意見交流の場が創出されたが、指導者からの指導・助言がなく、人権学習の深まりに欠けるという課題が残った。

来年度は、可能であれば従来のように自治会ごとに集会形式で開催し、内容の工夫・改善、広報活動の充実に努めていきたい。

- ③ 町づくり協議会と連携した公民館利用促進と地域コミュニティ形成事業の充実

【成果】 4月に「細川地域学校」の開校式・スプリングスクール、8月にサマースクール、11月にオータムスクールを開催した。この取組により、町民相互の交流が進むとともに、細川町キャラクター「せいかさん」が誕生した。さらに受講生の中から「ほそかわ花糰俱樂部」、「ひよこの会（スマホ）」が組織され、自主的な活動を行っている。

また、「伝える仕組みづくり」として、町づくり協議会のホームページのほか、「ほそかわ情報局 LINE 公式アカウント」登録者へ毎月の回覧版・町内行事等の情報や細川地域学校参加費割引クーポンの配信等を行った。

【課題】 今年度も新型コロナの影響で夏まつりは中止、文化祭は規模縮小となったが、来年度は従来どおりの開催を目指したい。

(6) 口吉川町公民館

ア 本年度の活動目標

～“大家族”みんながつながる公民館～

- ① 「口吉川ふれあいまちづくり協議会」の自主自立した運営の支援
- ② 人権尊重のまちづくりを推進
- ③ 地域にあった生涯学習事業の推進

イ 成果と課題

- ① 「口吉川ふれあいまちづくり協議会」の自主自立した運営の支援

【成果】 例年、協議会を中心に「盆踊り大会」や「町民文化祭」を開催し、町民相互の交流と親睦を図るところであるが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、いずれのイベントも中止となった。一方、「ふれあいバス」の運行は、月～金の間実施することができ、「防災訓練」、一人暮らし高齢者等を支援する友愛訪問活動は実施した。

【課題】 「ふれあいバス」の継続運営にむけた会員確保を図る。また、諸事業への参加者の増加をめざす。

- ② 人権尊重のまちづくりを推進

【成果】 参集型の住民学習会及び口吉川テレビでDVDを放映し、人権意識の向上を図ることができた。高齢者を対象とした人権学習会を実施した。また、「地域づくり研究大会」、口吉川地推協人権館外研修（岡山県「長島愛生園」他を視察）を実施した。

【課題】 指導者、リーダーの資質の向上や会の充実を図り、特に若い世代への参加を呼びかける。公民館の利用団体に対する啓発に努める。

- ③ 地域にあった生涯学習事業の推進

【成果】 乳幼児学級、女性セミナー、高齢者生きがいセミナー等を開催し、ふれあいや交流を深めた。

【課題】 乳幼児学級や専門教室への参加が減少し、女性セミナー、高齢者セミナーは受講者が固定化しつつある。より多くの参加を図るため、参加者の意見を取り入れ、学習内容を見直し魅力ある講座を開催する。

ウ 来年度に向けた活動方針（案）

- ① 地域課題の解消に向け、地域で活躍している各種団体との連携を図り、まちづくり協議会の自主自立した運営と活動の支援
- ② 人権尊重のまちづくりを目指し、住民学習を中心とした人権教育、啓発の推進を図り、子ども会、学校PTA等団体への呼びかけや参加の促進
- ③ 高齢者をはじめ、各世代が自由に集える魅力ある生涯学習の展開

(7) 緑が丘町公民館

ア 本年度の活動目標

～ 人と人のつながりをまちの力に ～

- ① 地域の必要課題の学習と社会教育活動の推進
- ② 地域団体の自主自立に向けた活動支援
- ③ インターネットを活用した新しい公民館活動の推進
- ④ 人権尊重のまちづくりの推進

イ 成果と課題

① 地域の必要課題の学習と社会教育活動の推進

【成果】 講座受講者からの希望の多い要求課題とともに、必要課題として、多文化共生、性的マイノリティなどの人権課題、特殊詐欺被害防止などをテーマとした生涯学習講座を開催した。また、地域間交流、大学との連携による事業により、多世代の参画を促進するとともに、社会教育関係団体の活動情報や加入促進のための広報を行い、活動を支援した。

【課題】 必要課題をテーマとした講座への参加促進
社会教育関係団体の会員数減少

② 地域団体の自主自立に向けた活動支援

【成果】 今年度から組織再編によりスタートした緑が丘町まちづくり協議会の自主的な活動が円滑に進むように支援してきた。特に住民の暮らしの支え合い活動に取り組む暮らし部会については、生活支援体制整備事業として社会福祉協議会が参画しサポートできるように支援を行った。今後、新しい会則による自主運営が進むように支援を行う。

【課題】 自治会以外の各種地域活動団体との連携
これからの地域活動を担う人材の発掘

③ インターネットを活用した新しい公民館活動の推進

【成果】 コロナ禍の中、文化祭での活動発表や地域の情報発信について、インターネットを活用した動画配信に取り組んだ。配信動画の出演者によるロコミなどで公民館活動の情報が広がっている。また、このようなインターネットによる情報とサービスを多くの住民が活用できるように携帯キャリアと連携したスマホ基本講座に取り組み、1月までに8回開催し、110人の参加があった。

【課題】 情報の発信側と受信側双方のネットに関するリテラシーを高めること。

④ 人権尊重のまちづくりの推進

【成果】 まちづくり協議会の住民学習部会が中心となり、リーダー研修会や講演会を開催した。住民学習会については、各自治会役員会の場を活用した住民学習会などにより、コロナ前の実施状況に近くなり、ほとんどの自治会で対面による住民学習会を開催することができた。

【課題】 地域住民の交流と学び合いによる学習

ウ 来年度に向けた活動方針（案）

- ① 地域活動団体が連携するための支援
- ② インターネットを活用した生涯学習や地域活動の推進

(8) 自由が丘公民館

ア 本年度の活動目標

～住み続けたいまち自由が丘をめざし、ふれあいを大切にする活力ある公民館～

- ① 生涯学習機会の充実
- ② 地域コミュニティの活性化
- ③ 自由が丘市民協議会の運営支援
- ④ 人権尊重のまちづくりの推進

イ 成果と課題

① 生涯学習機会の充実

【成果】 講座ごとに実施後アンケートを行い、受講者のニーズを把握し改善を図っている。アンケート結果はどの講座も肯定的評価が90%を超えている。また、小学生を対象にサマースクールとしてポスター教室や卓球教室等のほか、「夏休み自由っ子未来塾」も地域の指導ボランティアによる協力のもと実施することができた。

【課題】 コロナ感染防止に努めながら実施をしたが、感染拡大による影響で欠席者が増えたり開催を中止せざるを得ない講座もあった。

② 地域コミュニティの活性化

【成果】 コロナ禍ではあったが、感染予防に工夫を凝らしながら行事を開催することを前提に取り組んだ。地域住民の理解と協力を得て、文化祭やウォーキングフェスティバル、自由が丘自主防災訓練等を開催することができ、地域コミュニティの活性化を図ることができた。

【課題】 納涼盆踊り大会はコロナの急激な感染拡大のため開催できなかった。数年間のブランクによりノウハウが引き継がれていない可能性もあるため、次に行事等を行う際にはきめ細かな計画立案が必要。

③ 自由が丘市民協議会の運営支援

【成果】 「くらし生活部会」「住環境改善部会」「安全対策部会」の3部会で地域課題のテーマを決め、地域の課題について複数回にわたる部会の開催により検討・協議が進んだ。

【課題】 自由が丘市民協議会が一層主体的に活動を推進し、地域課題について、協議・対応していく仕組み作りを進めていくこと。

④ 人権尊重のまちづくりの推進

【成果】 コロナ禍であったが、地推協を中心に13自治会で対面での住民学習会を実施。さらに老人会や各種団体に人権啓発DVD「夕焼け」の視聴を行った。また、フィールドワークを中心とした館外人権研修を2回実施した。

【課題】 あらゆる世代に人権学習の機会を設け、一人でも多く参加者を増やしていきながら、人権意識の高揚を図っていく。

ウ 来年度に向けた活動方針（案）

- ① 自治会、市民協議会が取り組む地域課題の解決に向けた活動の支援
- ② 未来を担う子どもたちの成長を支えていく活動の充実
- ③ 住民学習会をはじめ、あらゆる学習機会を通じ人権尊重のまちづくりめざした人権教育の推進

(9) 青山公民館

ア 本年度の活動目標

～多世代が気軽に集い、地域の交流拠点となる公民館～

- ① まちづくり協議会が取り組む地域課題解決に向けた活動への支援
- ② 人権尊重のまちづくりの推進
- ③ 受講者が興味を持って参加できる生涯学習事業の実施
- ④ 多世代が集いやすい環境整備と世代間交流の推進

イ 成果と課題

① まちづくり協議会が取り組む地域課題解決に向けた活動への支援

【成果】 住みよいまちづくりの実現をはかるために設立された部会（防犯、子育て支援、高齢者支援、広報 他）により、地域課題解決に向けての取組が進められた。

【課題】 自主自立運営に向けた側面サポートの在り方
就労層を中心とした若い世代の参画

② 人権尊重のまちづくりの推進

【成果】 まちづくり協議会の人権部会「青山ふれあいネット」が人権学習の推進役を担い、各種セミナーや講座などを開催している。同和問題への研修をはじめ、館外研修、国際理解講座等を実施するなど、様々な人権課題について研修し、住みよい地域づくりの推進に寄与している。

【課題】 地域住民が求めるテーマを設定したセミナーや研修会の開催
自治会単位の住民学習への参加促進
学校再編による地域間交流の観点からも同和問題にかかる研修の充実

③ 受講者が興味を持って参加できる生涯学習事業の実施

【成果】 乳幼児学級では季節行事や親子交流を深める内容を、女性セミナーでは生活や健康に関する女性の関心が高い内容を、高齢者教室では生き生きと過ごすためのきっかけをつくる内容を実施し、充実した内容となった。

【課題】 新たな参加者を開拓していくための周知方法の工夫

④ 多世代が集いやすい環境整備と世代間交流の推進

【成果】 新型コロナによる感染対策を重視し、事業実施の可否や内容を検討したうえで内容を精査して実施することが出来た。

【課題】 感染対策と事業実施における効果とのバランス
参加者の固定化

ウ 来年度に向けた活動方針（案）

- ① まちづくり協議会が取り組む、地域課題解決に向けた活動への支援
- ② 青山ふれあいネットを中心とした人権学習の推進
- ③ 受講者が興味を持って参加できる生涯学習事業の実施
- ④ 多世代が集いやすい環境整備と世代間交流の推進

(10) 吉川町公民館

ア 本年度の活動目標

～ いきいきと 心ふれあうまち ～

- ① 吉川町まちづくり協議会による地域課題解決に向けた取組への支援
- ② よかわふるさと交流推進協議会の「交流の場づくり」と「活動」の支援
- ③ 少子高齢化社会における生涯学習ニーズの的確な把握と事業展開
- ④ 人権尊重のまちづくりの推進と吉川町独自の取り組み

イ 成果と課題

- ① 吉川町まちづくり協議会による地域課題解決に向けた取組への支援

【成果】 コロナ禍によりイベント事業が中止となる中、4年ぶりに「吉川町民ふれあい納涼大会」がされ、町民の多数の参加があった。

既存事業については、部会長を中心とする自主的、主体的な活動及び行政との協働の運営が行われた。また構成員にアンケートを取り、運営課題や地域課題の整理し、次年度への取り組み目標の設定を行っている。

【課題】 山田錦の郷を核とした「まちづくり」と「ひとづくり」を目指し、地域住民と行政機関と連携しながら取り組むことが望まれる。

誰もが地域の一員として、自分に合った役割を果たし活躍することができるような地域づくりを進めていく必要がある。

- ② よかわふるさと交流推進協議会の「交流の場づくり」と「活動」の支援

【成果】 昨年度は耐震工事等の影響で「ふれあい喫茶」の機能は十分活かせなかったが、今年度は従来どおりの営業体制となり、徐々にではあるが客足が戻ってきた。

【課題】 今後安定した交流事業の継続が課題となっている。また、そのために運営スタッフの確保、吉川町まちづくり協議会との連携が重要である。自立した体制づくりの為、事務機能の強化を進める必要がある。

- ③ 少子高齢化社会における生涯学習ニーズの的確な把握と事業展開

【成果】 昨年は実施できていなかった「キッズゆめ広場」事業が開催でき、多数の参加があった。子どもから高齢者まで、受講者のニーズに応じた生涯学習機会を提供することができた。

【課題】 若年世代や男性の学習ニーズの把握と学習機会の提供、地域の世代間交流の場の提供とともに、今後のまちづくりへの理解を深め、主体的・積極的な地域活動の支援が必要である。

高齢者については、超高齢化しているため、その実態に合ったニーズの把握に努め、健康づくり・生きがいづくりにつなげていく。

- ④ 人権尊重のまちづくりの推進と吉川町独自の取り組み

【成果】 コロナ禍の中で、集会形式で指導者を交えて住民学習会を設ける地区は少なくなったが、少人数や各家庭でのDVD視聴に切り替えるなど、工夫しながら実施した。また公民会主催の事業の中でも人権学習機会を設けた。

【課題】 自治会役員、社会教育推進委員、人権教育指導員が連携し、地域に合ったテーマの選定を行い、あらゆる世代が参加しやすい人権学習機会を設ける。

ウ 来年度に向けた活動方針案（案）

- ① 地域資源を活用した講座の開設
- ② 吉川町まちづくり協議会の地域課題の解決に向けた取組の支援
- ③ 交流事業並びに人権尊重にかかる事業の充実
- ④ 必要に応じ自主自立に向けての取り組みを考える

文化・スポーツ課

1 令和4年度 社会教育事業実施状況

(1) 文化・芸術団体の活動支援

文化活動への参加促進を図るため、三木市文化連盟をはじめとした文化・芸術団体の事業活動を支援し、運営に係る事務補助や活動成果の発表機会確保として、芸能祭・市民合唱祭・吹奏楽祭・さつき展・菊花展などを、また、創作活動の継続と意欲の向上を図るため、一般を対象とした「三木市展」や、園児から高校生までを対象とした「みなぎの書道展」の公募展を開催した。

(令和5年1月31日現在)

事業名	開催日	会場	入場者数
三木市の花「さつき」展覧会	5月28日～ 29日	道の駅みき 山田錦の館	三木会場 177人 吉川会場 395人
第36回三木市吹奏楽祭	7月23日	文化会館 大ホール	645人
墨華香るまちフェスティバル 第38回みなぎの書道展	10月8日～ 16日	吉川総合公園 パストラルホール	2,509人
第61回三木市菊花展覧会	10月20日～ 11月8日	文化会館前	500人
第43回三木市民合唱祭	10月30日	文化会館 大ホール	455人
金物まつり協賛市民文化まつり 作品展（書・川柳・水石）	11月5日～6日	文化会館	406人
金物まつり協賛芸能祭	11月6日	文化会館 大ホール	260人
第34回三木「第九」演奏会	12月3日	文化会館 大ホール	795人
第30回三木市アンサンブル コンサート	1月9日	文化会館 小ホール	175人
第69回三木市展	2月2日～ 5日	かじやの里 メッセみき	1,379人
第42回東播磨選抜美術展	2月17日～ 19日	加古川総合文化 センター	

【課題】

少子高齢化の進行に伴い、地域の文化を支える人材が減少しており、これ

まで培ってきた文化芸術の維持、継承が困難となることが懸念される。次代を担う人材育成など、文化芸術活動の裾野を広げることが必要である。

(2) 顕彰事業（三木市文化芸術賞）

選考委員会 令和5年3月10日

表彰式 未定

(3) 上田桑鳩作品収集関連事業

三木市出身の書道家の上田桑鳩作品を孫にあたる上田啓之氏から寄贈いただき、堀光美術館開館40周年記念事業として特別企画展及び講演会を開催した。

①寄贈式 令和4年4月21日 市長応接室

出席者 上田 啓之（寄贈者）、中原 志軒（奎星会会長）、
牛丸 好一（飛雲会会長）、島田 啓敬（飛雲会副
理事長）、和田 彩（飛雲会広報部長）

②特別講演会 令和4年10月9日 市立みき歴史資料館講座室

「桑鳩先生の人と書」 講師：牛丸 好一（飛雲会会長）
参加者：80人

③ミニ講演 令和4年11月13日 市立みき歴史資料館講座室

「桑鳩先生とみなぎの書道展」
講師：森川和謙（みなぎの書道展実行委員会委員）
「桑鳩先生ときらきら書道」
講師：藤原常貴（きらきら書道指導者）
参加者：35人

(4) 歴史・美術の杜構想の推進

史跡三木城跡及び付城跡・土塁を情報発信することで、「みき歴史・美術の杜みゅーじあむ」として歴史を継承し、市民の憩いの場を創出し、まちの活性化に繋がる取組を実施した。

①「みき歴史資料館」の運営

みき歴史資料館は、

- ・歴史資料の散逸を防ぎ、調査研究の成果を公開する「時空（とき）の拠点」
- ・市内外の方々が気軽に訪れることができる「まちおこしの拠点」
- ・三木の歴史文化をアピールし、リピーターを拡大する「情報発信の

拠点」

をコンセプトに、「みき歴史・美術の杜みゅーじあむ」の中核施設として、常設展示や企画展示等を行った。

ア みき歴史資料館利用者状況（令和5年1月31日現在）

項 目	利用者数
入館者数（常設展示）	11,989人
企画展示観覧者数	9,804人
館内イベント参加者数	1,013人
特別講演会	148人
一般講座	85人
各種イベント	780人
館外イベント参加者数	199人
利 用 者 合 計	12,188人

イ 歴史ウォーク（史跡見学会）の実施

新型コロナウイルス感染症拡大抑制のため参加人数を通常の半数程度に制限し、当初の予定通り5回実施した。

期 日	見 学 コ ー ス	参加者数
5月22日	近世絵図で歩く三木城跡コース	11人
10月30日	ホースランドパーク周辺付城跡コース	17人
11月27日	吉川町有安・鍛冶屋の文化財コース	18人
12月18日	愛宕山古墳・正法寺古墳コース	6人
1月29日	秀吉本陣跡コース	15人

ウ 企画展の開催

当初の予定通り3回開催し、現在4回目を開催中である。

（令和5年1月31日現在）

会 期	企 画 展 名	入館者数
4月9日～6月26日	神戸電鉄栗生線開通70周年 ～三木駅新駅舎完成記念～	4,698人
7月16日～9月25日	三木飛行場の記憶	2,831人
10月22日～12月18日	地域の史料たち6 ～吉川の歴史～	1,927人

1月21日～3月26日	三木市内 小・中・特別支援学校の校舎の記憶	(348人)
-------------	-----------------------	--------

エ 企画展特別講演会の実施

新型コロナウイルス感染症拡大抑制のため参加人数を通常の半数程度に制限し、当初の予定通り4回実施した。

期 日	内 容	参加者数
4月24日	神戸電鉄の歴史	42人
5月15日	神戸電鉄の魅力～粟生線を中心として～	40人
8月6日	三木飛行場をさぐる	38人
11月26日	地域の歴史を楽しむー新三木市史地域編『吉川の歴史』の刊行	28人

オ 館内外各種イベント

特別講演会や現地説明会をはじめ、企画展や他施設等と連携したイベント等を実施、または実施予定である。

(令和5年1月31日現在)

期 日・会 期	事 業 名	参加者数
4月9、10、23、24日、 5月3日～5日	企画展関連イベント 「楽しい鉄道模型走行会」	744人
6月10日～7月9日	「みつきい子午線フェスタ2022」 協賛展示 「時の記念日展」	1,185人
6月12日	企画展特別イベント 「鉄道写真を撮ってみよう！」	12人
7月24日、9月3日	企画展「三木飛行場の記憶」展示 解説会	36人
9月25日	特別講演会 「歴史を活かした三木の街づくり」	72人
11月1日～12月23日	4市観光協会連携 「御城印デジタルスタンプラリー」	375人
11月19日	金物資料館特別企画展連動講座 「先人の努力と技を後世に」	13人
12月24日	三木城二の丸跡発掘調査現地説明会	120人
2月5日、3月12日	企画展「三木市内 小・中・特別支援学校の校舎の記憶」展示解説会	定員 各15人

2月26日～3月10日	市内6施設連携 「お雛さま展スタンプラリー」	(未定)
-------------	------------------------	------

② 三木城跡及び付城跡・土塁の整備

ア 史跡等買上事業

這田村法界寺山ノ上付城跡について、財産区 2,098.25 m² (1筆) の買い上げを実施した。

イ 三木城二の丸跡の発掘調査

11月30日～12月27日にかけて、旧上の丸庁舎跡において実施。江戸時代の絵図に描かれている堀を発見した。

【課題】

ウィズコロナを念頭に置いて安全で有意義な館運営の在り方を引き続き模索していくとともに、「みき歴史・美術の杜みゅーじあむ」のインフォメーション施設として、他施設とも連携を図りながら市民が参画する「まちおこし」の仕組みを作る必要がある。

2. 令和4年度 社会体育事業実施状況

(1) ニュースポーツ大会及び市内外の交流事業の実施

スポーツ推進委員とともに、子どもや高齢者、障がい者など、いろいろな事情により、普段からスポーツをしていない人でも、気軽に楽しむことができるニュースポーツの大会として、ふれあいスポーツデー、スナッグゴルフ体験会等を例年計画している。

期 日	内 容	会 場	人 数
5月3日	ふれあいスポーツデー	三木ホースランドパーク	248人
12月4日	スナッグゴルフ体験会	三木ホースランドパーク	70人

【課題】

ニュースポーツについてより多くの人に知ってもらい、ニュースポーツの裾野を今までより広げていくこと。

(2) 第28回みっきいふれあいマラソン

令和5年3月5日開催 参加予定者数 2,200人

(3) スポーツクラブ21

「スポーツクラブ21の充実」として、スポーツクラブ21の情報共有の

ためのスポーツクラブ間の交流が県内・市内で実施された。

【課題】

「スポーツクラブ 21」の過去 5 年間の会員数は、地域差はあるものの減少傾向にある。また、会員数の減少に伴い、自主財源の確保が困難となっている。

全国的に「スポーツクラブ 21」の認知度が低いことから、勧誘活動や事業実施に向けた P R 不足が各クラブ共通の課題といえる。クラブへの入会促進を目的とした体験事業の開催や、クラブ間交流事業の増加など、各クラブの活性化が必要である。

また、中学校運動部活動の地域移行に伴い、受け皿となる団体として「スポーツクラブ 21」が候補として挙げられているが、体制や整備が十分に整っていない現状がある。

(4) 市民スポーツ教室

(公財) スポーツ振興基金では、バレーボール強化練習会や少年スポーツ大会を開催している。

今年度は、令和 5 年 2 月 4 日(土)に開催し、市内の小中学生 69 人が参加した。

スポーツ協会と連携、協力してジュニアソフトテニス教室、水泳選手強化練習会などを開催し、競技レベルの向上や人材育成に努めた。

令和 4 年度練習会等実施状況

教室名 (時間)	期間	会 場	指導者等	人数 (回数)
ジュニアソフトテニス教室	4月～6月	三木山総合公園 テニスコート	三木市ソフトテニス協会指導員	96人 (10回)
ジュニア陸上競技教室	5月～7月	三木山総合公園 陸上競技場	三木市陸上競技協会指導員	30人 (10回)
少年スポーツ大会 (小学生陸上の部)	6月11日	三木総合防災公園 陸上競技場	—	195人
ジュニアソフトテニス教室	7月～9月	三木山総合公園 テニスコート	三木市ソフトテニス協会指導員	121人 (10回)
ジュニア陸上競技教室 (中止)	9月～11月	三木山総合公園 陸上競技場	三木市陸上競技協会指導員	—
少年スポーツ大会 (陸上除く10種目)	11月20日他	市内体育施設	—	536人

教室名（時間）	期間	会 場	指導者等	人数 (回数)
ジュニアソフトテニス教室	4月～6月	三木山総合公園 テニスコート	三木市ソフトテニス協会指導員	96人 (10回)
ジュニア陸上競技教室	5月～7月	三木山総合公園 陸上競技場	三木市陸上競技協会指導員	30人 (10回)
バレーボール強化練習会	2月4日	吉川総合公園文 化体育館	デンソーテン女子バレーボール部	69人

(5) 社会体育派遣事業

事業内容	月 日	場 所	結 果
兵庫県郡市区対抗駅伝競走	2月5日	加古川市 加古川河川敷マラソンコース	男子 15 位 女子 7 位

(6) 顕彰事業（表彰式：令和5年2月25日 三木市文化会館小ホール）

スポーツ賞個人の部

優秀選手賞	7名
奨励賞	13名
特別賞	2名

スポーツ賞団体の部

奨励賞	7団体
-----	-----

教育功労賞

（スポーツ部門）16名

- (7) (公財) 三木市スポーツ振興基金 35周年記念事業 スポーツ講演会
 令和5年2月25日 三木市文化会館小ホール
 「水泳から学んだ挑戦することの大切さ」
 講師：寺川 彩（スポーツキャスター・ミズノスイムチームコーチ）
 参加者数 約200人

3 令和4年度 美術館事業実施状況

市立堀光美術館では、市内芸術団体のほか、市内外の芸術家の作品展や公募展など、今年度は予定どおり11回開催した。

今年度は三木市立堀光美術館開館 40 周年にあたり、特別企画展として「郷土の書家 上田桑鳩展」を 2 か月にわたり、寄附いただいた作品等を展示した。

また今年度も前年度に引き続き、市内中学生のトライやるウィークを受け入れた。さらに、市内小学校とも連携し、「よねざわともみ展」「いそのゆか展」では来館した子どもたちにワークショップで作品作りを体験してもらった。「木版と洋画を楽しむ二人展」では、ワークショップで来館者に木版刷りを体験してもらった。

(1) 展示事業

(令和 5 年 1 月 31 日現在)

会 期	展 覧 会 名	入館者数
4 月 2 日～4 月 24 日	SCENE-心の情景-小林隆之 作品展	511 人
5 月 3 日～5 月 15 日	三木市美術協会 日本画・書部会展	723 人
5 月 21 日～6 月 12 日	よねざわともみ展 ハンペルマンに恋をした～紐仕掛け人形の魅力～	1262 人
6 月 18 日～7 月 18 日	手仕事・共生「ゆがふ舎」展 ～平井真人と「ゆがふ舎」に集う人びとと作品～	503 人
8 月 2 日～8 月 17 日	第 2 回アート・ティーン公募展	382 人
8 月 27 日～9 月 19 日	木彫と流木オブジェ 福本孝昭 - 10 年の軌跡展 -	947 人
10 月 1 日～10 月 30 日	「郷土の書家 上田桑鳩展」～上田家寄贈作品から～（前期）	970 人
11 月 5 日～11 月 27 日	「郷土の書家 上田桑鳩展」～上田家寄贈作品から～（後期）	883 人
12 月 9 日～12 月 25 日	第 47 回グループしぶがき展	582 人
1 月 7 日～1 月 29 日	木版と洋画を楽しむ二人展 森口朝光（木版）と片山康絵（洋画）の二人展	692 人
2 月 4 日～2 月 26 日	いそのゆか展-優心-指先から溢れる ChalkartMagic	
3 月 4 日～3 月 26 日	THE CATS 山田貴裕展	
計		4,275 人

【課題】

コロナ禍が長引き、展覧会の運営方法を今までのやり方だけでなく、大きく変えていく時期である。ホームページやTwitterなどでの情報発信の

ほかに、市内の学校との交流を通じて地元の美術館をより身近に感じ、学びの場としてだけでなく、交流や、芸術発展の場としていきたい。

アクセスの分かりにくさ、エレベーターがないことによるバリアフリーの欠如も引き続きの課題となっている。

4 令和5年度 社会教育施策実施予定

(1)文化・芸術活動の推進事業

No.	事業名	予定日	予定場所	備考
1	三木市の花「さつき」展覧会	6月初旬	道の駅みき、山田錦の館	
2	第37回三木市吹奏楽祭	7月下旬	文化会館大ホール	
3	墨華香るまちフェスティバル 第39回みなぎの書道展	10月上旬 ～中旬	吉川総合公園 パストラルホール	
4	第62回三木市菊花展覧会	10月下旬 ～11月上旬	文化会館前	
5	第44回三木市民合唱祭	10月下旬	文化会館大ホール	
6	第35回三木「第九」演奏会	12月中旬	文化会館大ホール	
7	第70回三木市展	2月上旬	かじやの里メッセみき	
8	みき演劇セミナー第二十四発 「わがまちシリーズ第17弾」	3月上旬	文化会館小ホール	

(2)文化財の保護・啓発

No.	事業名	予定日	予定場所	備考
1	歴史美術の杜推進事業 歴史ウォーク 企画展 細川町の祭り屋台展 播磨の鉄道風景 ～過ぎ去った時間 を再現する～(仮) 地域の史料たち7(仮) 三木の染形紙(仮) 歴史講座・体験教室・ワークショップ 歴史資料館協議会	4月～3月 4月22日～6月25日 7月15日～9月24日 10月14日～12月24日 1月27日～3月17日 随時 年2回	国史跡三木城跡及び 付城跡・土塁 他 みき歴史資料館 みき歴史資料館 みき歴史資料館 みき歴史資料館 みき歴史資料館 みき歴史資料館	
2	文化財保護審議会	年2回	みき歴史資料館	
3	埋蔵文化財発掘調査事業 ①開発等にかかる緊急調査 ②国史跡三木城本丸跡の発掘調査	随時 未定	市内 上の丸保育所跡	
4	古墳等維持管理事業 ①古墳管理地管理業務 ②国史跡地管理事業	随時 随時	正法寺古墳公園、愛宕山 古墳、与呂木青葉台古 墳、有安2号墳 史跡の付城跡群	
5	埋蔵文化財展示公開事業 別所ふるさと交流館文化財展示室公開	通年	別所ふるさと交流館	
6	講師派遣事業	随時		
7	文化財実態調査事業	通年	市内	石造品

(3)文化関係団体の育成及び活動支援

No.	事業名	予定日	予定場所	備考
1	文化団体事業活動支援			
	①三木市盆栽協会活動支援			
	ア 別所公春まつり協賛盆栽展	5月上旬	中央公民館	
	イ 金物まつり協賛秋季盆栽展	11月上旬	文化会館コミュニティホール	
	②三木市美術協会活動支援			
	ア 美術協会部会展	5月予定	堀光美術館	
	イ 美術協会展	9月予定	三木南交流センター	
	③三木市文化連盟活動支援			
	ア 別所公春まつり協賛事業	5月上旬	上の丸公園他	献花、献茶
	イ 金物まつり協賛事業	11月初旬	文化会館大ホール他	芸能祭ほか
	ウ 東播磨文化団体連合会事業	7月～3月	東播磨各市町	
	④三木市吹奏楽連盟活動支援			
	ア 第30回アンサンブルコンサート	1月予定	文化会館小ホール	
2	地域文化財総合活用推進事業支援	4月～3月	市内	

5 令和5年度 社会体育事業実施予定

月	事業名
4月	
5月	ふれあいスポーツデー（3日） 三木ホースランドパーク ジュニア陸上競技教室 前期 全10回 三木山総合公園
6月	少年スポーツ大会（陸上の部）（10日） 三木総合防災公園
7月	
8月	バレーボール選手強化練習会（6日） 三木山総合体育館 三木市・垂井町交流会 ※調整中
9月	ジュニア陸上競技教室 後期 全10回 三木山総合公園
10月	
11月	少年スポーツ大会（19日他） 三木山総合公園他
12月	スナッグゴルフ体験会大会（3日）ホースランドパーク
1月	市民駅伝大会（6日）三木総合防災公園
2月	スポーツ賞表彰式（24日） 教育センター
3月	みっきいふれあいマラソン（3日） 三木総合防災公園
備考	ジュニアソフトテニス教室 年間全 20 回 三木山総合公園

6 令和5年度 美術館事業実施予定

(1) 展示事業

No.	期 間	種 類	展示会名	内 容
1	4月1日～4月23日	企画展	松原政祐展 —生かされしものたちへの讃歌—	洋画 混合技法の絵画と 彫刻作品
2	4月29日～5月14日	企画展	三木市美術協会 写真・彫塑工芸部会展 theme「風」	三木市美術協会彫塑工芸 部会・写真部会の作品を 展示。2階では「風」を テーマとした作品を展
3	5月27日～6月18日	企画展	池内悦子展 墨いろ-こころごよみ第1章 —はじまりは1・17— *時の記念日関連事業あり	墨と和紙による絵 画作品
4	6月24日～7月17日	企画展	古川 尊 線象嵌作品展	陶芸
5	8月1日～8月16日	企画展	第3回 アート・ティーン公募展	絵画、木彫
6	8月26日～9月24日	特別企画 展	日本画 こころの可視化 —Revival exhibition— 雲丹亀利彦展	日本画
7	10月14日～11月26日	特別企画 展	上田桑鳩展(仮題)	書
8	12月8日～12月25日	企画展	第48回グループしぶがき展	絵画・書・写真・ 陶芸など
9	1月13日～2月4日	企画展	三木市美術協会枠 (写真 二人展)	写真
11	2月17日～3月10日	企画展	野口雅史展 (ネコ展の予定:2月22日猫の日) ※お雛様スタンプラリー	ネコの作品を中心 とした鉛筆画
12	3月23日～4月14日	企画展	堀光コレクション展	堀光美術館の所蔵 品を展示

教育センター

1 生涯学習に関すること

(1) いじめ・不登校を考えるフォーラム（8月23日）

「子どもと考えるスマホの使い方」をテーマに兵庫県立大学教授 竹内和雄氏に講演いただき、中学生生徒会38人が参加した。

(2) 中高年コンピュータ教室（11月15日～11月18日）

11月15日から4日間実施し、延べ6人が参加した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加人数を制限して実施した。

(3) 第28回三木市CGアートコンテスト

206人から223点の応募があった。2月11日（土）に表彰式を行った。

2 青少年教育に関すること

三木市野外活動連絡協議会を3月に開催した。

3 青少年の非行防止と健全育成に関すること

(1) 補導活動

・役員による深夜補導（2カ所×4回／年）

・班ごとによる深夜補導 市内11地区（原則月2回以上）

地域の実態により活動手法に差異があるため、各班の実情に応じて活動している。

新型コロナ感染防止に配慮しながら本年度は、従来の活動に戻つつある。

・巡回パトロール（含白ポスト回収） 月7回実施

補導活動中に気になる事案やトラブルの報告はなかった。通信機器の普及やコロナ感染対策の影響を受け、青少年を見かけることはほとんどないのが現状である。また、不審者情報が流れた際には、青色パトロール車で現場付近のパトロールを行い、安全安心の向上および事案の抑止に努めた。さらに、有害指定図書類等の白ポストへの投函については有害図書類もあるが、有害DVDが目立っている。様々な機会を捉え、環境浄化について啓発していく。

(2) 北播磨補導委員統一活動、青少年健全育成啓発活動

・北播磨補導委員統一活動として年2回（7月、12月）、三木警察署との合同深夜補導を実施した。

・青少年健全育成啓発活動として、年3回（7月、11月、2月）、土曜日午後2時30分から1時間程度、大型量販店（イオン三木・イオン三木青山、コープ志染、トーヨー志染駅店）でネット利用や万引き防止のチラシ、ポケットティッシュ等を来店者や通行人に配布した。

(3) ネット見守り隊事業

・問題事案の早期発見および抑止

インターネットサイトで、子ども達に悪影響を及ぼしている問題事案について、特別監視員にネット検索を依頼し、子ども達の見守りを行っている。投稿しているものには、学校名や個人が特定されることにつながるものもあるので注意喚起を促している。指導を要する投稿については、教育委員会を通じて該当校に指導を依頼している。

(4) 学校・警察・事業者連絡会（情報交換会）

・年2回（6月、11月）開催

・小・中学校（生徒指導）、学校教育課、青少年センター、補導委員会、事業者（イオン等9業者）、警察、関係機関等が参加

学校、警察、事業者及び関係機関等との情報交換会を開催し、連携を図ることで青少年の非行防止と健全育成に努めている。

(5) 人の目の垣根隊による児童生徒の見守り活動

交通事故防止や不審者事案の未然防止に努めている。また、小学校単位で意見交換会を実施し、意見や要望については、関係部署とつなぎ、改善に向けて取り組んでいる。

現在、会員数は753人であるが、実際に活動していただいている会員の減少ならびに高齢化が課題で、新規会員募集のため広報みきへの掲載、幼稚園、小学校及び公民館などへの会員募集チラシの配布や関連団体に協力を呼びかけている。

令和5年度三木市立教育センター事業一覧

※教育指導者の資質を高め、教育の充実を図るための研修や調査・研究、情報化社会に柔軟に対応するための教育活動、生涯学習社会に即応した市民研修等、教育全般に関する各事業の充実を図る。

I 研修事業 (・教職員研修講座の計画及び実施)
1 専門研修講座・校務システム研修会
(1) 人間力・学校力向上教育コース (・幼児教育・生徒指導・学級経営・学校経営・教育相談)
(2) 授業力向上教育コース (・教育方法・教科指導へのICTの活用・情報教育)
(3) 個を生かす教育コース (特別支援教育・人権教育・学級経営・教育方法)
2 若年経験者研修・中堅教員研修
II 調査・研究事業 (・教育に係る専門的な調査及び研究)
1 研究員制度
・ 指定課題 (教科教育部門、道徳教育部門、特別活動部門、生徒指導部門、特別支援教育部門、教育の情報化部門、外国語活動部門、幼児教育・保育部門、その他)
2 研究グループ発表会
3 研究紀要編集
III 相談事業 (・教育相談に関すること)
1 教育相談 (・不登校、いじめ、人間関係、子育て、発達に関すること、その他)
2 教育指導 (・教科等の指導方法、生徒指導、情報教育・ICT教育、研究推進、その他)
3 青少年悩みの相談
IV 教育の情報化事業 (・ネットワーク管理運用及び教育の推進)
1 教育用ネットワークシステム
2 情報教育・ICT教育の推進
V 視聴覚教育事業 (・視聴覚機器管理運用及び教育の推進)
1 教材・資料の整備
2 研修用図書の本整備
VI 不登校問題対策事業 (・不登校児童生徒の自立と学校復帰の支援)
1 みつきいルーム (適応教室)
2 家庭支援活動
VII 特別支援教育推進事業 (・特別支援教育の推進)
1 特別支援教育研修
2 特別支援コーディネータ等への研修
3 各機関との支援・連携
4 相談・情報提供
VIII 生涯学習活動 (・生涯学習社会に即応した事業の企画と実施)
1 市民講座
2 CGアートコンテスト・中高年コンピュータ教室

図書館

1 令和4年度の成果と課題

(1) 成果 高齢や障がい等で図書館に来館することができない市民に対して、9月より「図書館定期宅配サービス」を実施し、現在2名の方が利用している。

(2) 課題 すべての市民が便利に図書館を利用できるように、非来館でも利用できる図書館資料のデジタル化を進める必要がある。まずは、国立国会図書館のデジタル化資料の有効活用を図っていく。

2 図書館事業実施状況

(令和5年1月31日現在)

施策の体系	事業名	実施日等	事業の内容																											
(1) 図書館運営	図書館協議会	7月1日	ア 会場 中央図書館視聴覚室 イ 参加人数 7人 ウ 内容 (ア) 令和3年度図書館事業実績について (イ) 令和4年度図書館事業について (ウ) 電子書籍の導入について (エ) その他																											
		1月31日	ア 会場 中央図書館視聴覚室 イ 参加人数 10人 ウ 内容 (ア) 令和4年度図書館事業について (イ) 令和5年度図書館事業について (ウ) その他																											
(2) 図書館資料の充実	資料の充実		図書（一般書、児童書）及び視聴覚資料の購入（図書 7,698冊、視聴覚資料 192点）																											
(3) 図書館利用	資料貸出等事業		ア 登録者数 32,336人（うち新規 1,268人） イ 図書（雑誌・AVを含む）貸出冊数（個人） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>中央図書館</td> <td>354,078冊</td> </tr> <tr> <td>青山図書館</td> <td>149,793冊</td> </tr> <tr> <td>吉川図書館</td> <td>116,153冊</td> </tr> <tr> <td>自由が丘公民館</td> <td>14,276冊</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>634,300冊</td> </tr> </table>	中央図書館	354,078冊	青山図書館	149,793冊	吉川図書館	116,153冊	自由が丘公民館	14,276冊	計	634,300冊																	
			中央図書館	354,078冊																										
			青山図書館	149,793冊																										
			吉川図書館	116,153冊																										
自由が丘公民館	14,276冊																													
計	634,300冊																													
ウ 予約・リクエスト（インターネットを含む） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>中央図書館</td> <td>62,430件</td> </tr> <tr> <td>青山図書館</td> <td>37,061件</td> </tr> <tr> <td>吉川図書館</td> <td>22,975件</td> </tr> <tr> <td>自由が丘公民館</td> <td>11,579件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>134,045件</td> </tr> </table>	中央図書館	62,430件	青山図書館	37,061件	吉川図書館	22,975件	自由が丘公民館	11,579件	計	134,045件																				
中央図書館	62,430件																													
青山図書館	37,061件																													
吉川図書館	22,975件																													
自由が丘公民館	11,579件																													
計	134,045件																													
エ レファレンス（所蔵調査含む） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>方法</th> <th>中央図書館</th> <th>青山図書館</th> <th>吉川図書館</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来館</td> <td>506件</td> <td>913件</td> <td>253件</td> <td>1,672件</td> </tr> <tr> <td>文書</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>電話</td> <td>13件</td> <td>187件</td> <td>80件</td> <td>280件</td> </tr> <tr> <td>メール</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>519件</td> <td>1,101件</td> <td>333件</td> <td>1,953件</td> </tr> </tbody> </table>	方法	中央図書館	青山図書館	吉川図書館	計	来館	506件	913件	253件	1,672件	文書	0件	1件	0件	1件	電話	13件	187件	80件	280件	メール	0件	0件	0件	0件	計	519件	1,101件	333件	1,953件
方法	中央図書館	青山図書館	吉川図書館	計																										
来館	506件	913件	253件	1,672件																										
文書	0件	1件	0件	1件																										
電話	13件	187件	80件	280件																										
メール	0件	0件	0件	0件																										
計	519件	1,101件	333件	1,953件																										

		<p>オ 相互貸借（県立、他市町館間等）</p> <p>(ア) 貸出 797 冊</p> <p>(イ) 借受 1,593 冊</p> <p>ア 視聴覚ライブラリー</p> <table border="1" data-bbox="831 315 1437 517"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>中央図書館</th> <th>吉川図書館</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビデオ</td> <td>15 件</td> <td>0 件</td> <td>15 件</td> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td>493 件</td> <td>292 件</td> <td>785 件</td> </tr> <tr> <td>CD</td> <td>22 件</td> <td>8 件</td> <td>30 件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>530 件</td> <td>300 件</td> <td>830 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 文献複写</p> <table border="1" data-bbox="831 551 1350 752"> <thead> <tr> <th>館名</th> <th>件数</th> <th>枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>479 件</td> <td>2,357 枚</td> </tr> <tr> <td>青山図書館</td> <td>87 件</td> <td>171 枚</td> </tr> <tr> <td>吉川図書館</td> <td>82 件</td> <td>458 枚</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>648 件</td> <td>2,986 枚</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ インターネット端末利用者</p> <table border="1" data-bbox="831 786 1251 909"> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>725 人</td> </tr> <tr> <td>吉川図書館</td> <td>75 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>800 人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	中央図書館	吉川図書館	計	ビデオ	15 件	0 件	15 件	DVD	493 件	292 件	785 件	CD	22 件	8 件	30 件	計	530 件	300 件	830 件	館名	件数	枚数	中央図書館	479 件	2,357 枚	青山図書館	87 件	171 枚	吉川図書館	82 件	458 枚	計	648 件	2,986 枚	中央図書館	725 人	吉川図書館	75 人	計	800 人
項目	中央図書館	吉川図書館	計																																								
ビデオ	15 件	0 件	15 件																																								
DVD	493 件	292 件	785 件																																								
CD	22 件	8 件	30 件																																								
計	530 件	300 件	830 件																																								
館名	件数	枚数																																									
中央図書館	479 件	2,357 枚																																									
青山図書館	87 件	171 枚																																									
吉川図書館	82 件	458 枚																																									
計	648 件	2,986 枚																																									
中央図書館	725 人																																										
吉川図書館	75 人																																										
計	800 人																																										
	学校との連携	<p>学校図書室と連携し、必要な資料の選定、貸出しを行う 市内学校団体貸出数 1,412 冊</p>																																									
(4) 図書館資料の整備	資料の所蔵状況	<p>ア 図書</p> <table border="1" data-bbox="831 1032 1278 1223"> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>219,412 冊</td> </tr> <tr> <td>青山図書館</td> <td>61,060 冊</td> </tr> <tr> <td>吉川図書館</td> <td>68,290 冊</td> </tr> <tr> <td>自由が丘公民館</td> <td>3,354 冊</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>352,116 冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 雑誌</p> <table border="1" data-bbox="831 1267 1307 1458"> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>132 タイトル</td> </tr> <tr> <td>青山図書館</td> <td>56 タイトル</td> </tr> <tr> <td>吉川図書館</td> <td>69 タイトル</td> </tr> <tr> <td>自由が丘公民館</td> <td>1 タイトル</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>258 タイトル</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 新聞</p> <table border="1" data-bbox="831 1503 1398 1704"> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>購入 8 紙</td> </tr> <tr> <td>青山図書館</td> <td>購入 7 紙</td> </tr> <tr> <td>吉川図書館</td> <td>購入 7 紙 寄贈 1 紙</td> </tr> <tr> <td>自由が丘公民館</td> <td>購入 2 紙</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>購入 24 紙 寄贈 1 紙</td> </tr> </tbody> </table> <p>エ 視聴覚資料</p> <table border="1" data-bbox="831 1749 1278 1906"> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>3,206 点</td> </tr> <tr> <td>青山図書館</td> <td>1,328 点</td> </tr> <tr> <td>吉川図書館</td> <td>2,047 点</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,581 点</td> </tr> </tbody> </table>	中央図書館	219,412 冊	青山図書館	61,060 冊	吉川図書館	68,290 冊	自由が丘公民館	3,354 冊	計	352,116 冊	中央図書館	132 タイトル	青山図書館	56 タイトル	吉川図書館	69 タイトル	自由が丘公民館	1 タイトル	計	258 タイトル	中央図書館	購入 8 紙	青山図書館	購入 7 紙	吉川図書館	購入 7 紙 寄贈 1 紙	自由が丘公民館	購入 2 紙	計	購入 24 紙 寄贈 1 紙	中央図書館	3,206 点	青山図書館	1,328 点	吉川図書館	2,047 点	計	6,581 点			
中央図書館	219,412 冊																																										
青山図書館	61,060 冊																																										
吉川図書館	68,290 冊																																										
自由が丘公民館	3,354 冊																																										
計	352,116 冊																																										
中央図書館	132 タイトル																																										
青山図書館	56 タイトル																																										
吉川図書館	69 タイトル																																										
自由が丘公民館	1 タイトル																																										
計	258 タイトル																																										
中央図書館	購入 8 紙																																										
青山図書館	購入 7 紙																																										
吉川図書館	購入 7 紙 寄贈 1 紙																																										
自由が丘公民館	購入 2 紙																																										
計	購入 24 紙 寄贈 1 紙																																										
中央図書館	3,206 点																																										
青山図書館	1,328 点																																										
吉川図書館	2,047 点																																										
計	6,581 点																																										

			<table border="1"> <tr> <th>実施日</th> <th>館名</th> <th>不明冊数</th> </tr> <tr> <td>5/30~6/7</td> <td>中央図書館</td> <td>120冊</td> </tr> <tr> <td>5/16~5/18</td> <td>青山図書館</td> <td>19冊</td> </tr> <tr> <td>6/13~6/15</td> <td>吉川図書館</td> <td>21冊</td> </tr> <tr> <td>6/6</td> <td>自由が丘公民館</td> <td>8冊</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>168冊</td> </tr> </table>	実施日	館名	不明冊数	5/30~6/7	中央図書館	120冊	5/16~5/18	青山図書館	19冊	6/13~6/15	吉川図書館	21冊	6/6	自由が丘公民館	8冊	計		168冊		
実施日	館名	不明冊数																					
5/30~6/7	中央図書館	120冊																					
5/16~5/18	青山図書館	19冊																					
6/13~6/15	吉川図書館	21冊																					
6/6	自由が丘公民館	8冊																					
計		168冊																					
(5) 講座、講演会、展示会、その他図書館活動	講演会等		<p>ア 事業名 みっさい古文書基礎講座 イ 会場 中央図書館 ウ 講師 三木古文書研究会会長ら数名</p> <table border="1"> <tr> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>4月2日</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>5月7日</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>6月18日</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>7月2日</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>9月3日</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>10月1日</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>11月5日</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>12月3日</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>1月7日</td> <td>21人</td> </tr> </table>	開催日	参加人数	4月2日	26人	5月7日	25人	6月18日	26人	7月2日	26人	9月3日	24人	10月1日	22人	11月5日	22人	12月3日	20人	1月7日	21人
		開催日	参加人数																				
		4月2日	26人																				
		5月7日	25人																				
		6月18日	26人																				
		7月2日	26人																				
		9月3日	24人																				
		10月1日	22人																				
11月5日	22人																						
12月3日	20人																						
1月7日	21人																						
4月15日～5月15日	<p>ア 事業名 こどもの読書週間イベント レッツチャレンジ! えほんクイズ イ 会場 吉川図書館 ウ 内容 絵本のストーリーをもとに作成した4種類のクイズの配布 関連本の展示 エ 参加人数 64人</p>																						
4月23日～5月5日	<p>ア 事業名 こいのぼりぬりえ イ 会場 青山図書館 ウ 配布枚数 83枚</p>																						
4月24日	<p>ア 事業名 こどもの読書週間イベント DVD上映会 イ 会場 中央図書館 ウ 題名 「ばあばは、だいじょうぶ」 エ 参加人数 13人</p>																						
6月5日 11日 19日～ 26日	<p>ア 事業名 あおとフェス2022 イ 会場 青山図書館 ウ 内容 付録のプレゼント、CD&DVD貸出2倍Day、ぬりえ&ブックカバーの配布</p>																						
6月11日	<p>ア 事業名 おっちゃんの絵本読み聞かせ会 イ 会場 吉川図書館 ウ 内容 男性読み聞かせグループによる絵本の読み聞かせ エ 出演 MEN'S絵本プロジェクト “いぶし銀” オ 参加人数 13人</p>																						
7月1日～7月8日	<p>ア 事業名 セタかざりをしよう イ 会場 吉川図書館 ウ 参加人数 73人</p>																						

		7月1日～ 8月31日	ア 事業名 わくわく！自由研究ヒントカード イ 会場 中央図書館、青山図書館、吉川図書館												
		7月3日	ア 事業名 たなばたのおはなし会 イ 会場 吉川図書館 ウ 参加人数 2人												
		7月16日～ 22日	ア 事業名 図書館まつり 2022 イ 会場 中央図書館 ウ 内容 (ア) 図書館ボランティア活動展示 (イ) CD&DVD 貸出2倍 Day (ウ) おはなしリレー (エ) 朗読会 (オ) 豆本を作ろう (カ) 雑誌ふるくの抽選会												
		7月25日	ア 事業名 本のかんたん修理体験 イ 会場 中央図書館 ウ 内容 本のかんたんな修理方法を知る、いろいろな本の形を知る エ 参加人数 4人												
			ア 事業名 かがく工作教室&おはなし会 <table border="1" data-bbox="847 965 1418 1126"> <thead> <tr> <th>館名</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>7月31日</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>青山図書館</td> <td>7月24日</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>吉川図書館</td> <td>8月6日</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table>	館名	開催日	参加人数	中央図書館	7月31日	7人	青山図書館	7月24日	4人	吉川図書館	8月6日	7人
館名	開催日	参加人数													
中央図書館	7月31日	7人													
青山図書館	7月24日	4人													
吉川図書館	8月6日	7人													
		8月4日	ア 事業名 親子でわくわく夜の図書館 2022 イ 会場 中央図書館 ウ 内容 夜の図書館探検、読み聞かせ エ 参加人数 33人												
		9月11日	ア 事業名 DVD上映会 イ 会場 吉川図書館 ウ 題名 「稲川淳二の超こわい話 禁忌領域」 エ 参加人数 9人												
		9月25日	ア 事業名 手話でみんなのおはなし会 イ 会場 中央図書館 ウ 内容 手話つき絵本の読み聞かせ エ 出演 手話サークルみき オ 参加人数 21人												

		<p>ア 事業名 製本・図書修理教室（全8回） イ 会場 中央図書館 ウ 講師 平野照子</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月26日</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>10月3日</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>10月17日</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>10月24日</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>11月7日</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>11月21日</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>12月5日</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>12月19日</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	参加人数	9月26日	13人	10月3日	15人	10月17日	14人	10月24日	12人	11月7日	13人	11月21日	12人	12月5日	12人	12月19日	12人
開催日	参加人数																			
9月26日	13人																			
10月3日	15人																			
10月17日	14人																			
10月24日	12人																			
11月7日	13人																			
11月21日	12人																			
12月5日	12人																			
12月19日	12人																			
10月5日	<p>ア 事業名 おとなのためのおはなし会 イ 会場 中央図書館 ウ 内容 大人向けのストーリーテリング エ 出演 ストーリーテリングみき オ 参加人数 10人</p>																			
10月8日	<p>ア 事業名 ぬいぐるみのおとまりかい イ 会場 吉川図書館 ウ 参加人数 18人</p>																			
	<p>ア 事業名 絵本と音楽のライブツアー2022 イ 出演 藤田紀子、小巻健、みきおはなし会*絵本の森、MEN'S 絵本プロジェクト“いぶし銀”、吉川図書館を考える会すすく、図書館スタッフ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>館名</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>11月20日</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>青山図書館</td> <td>10月16日</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>吉川図書館</td> <td>11月19日</td> <td>28人</td> </tr> </tbody> </table>	館名	開催日	参加人数	中央図書館	11月20日	33人	青山図書館	10月16日	28人	吉川図書館	11月19日	28人							
館名	開催日	参加人数																		
中央図書館	11月20日	33人																		
青山図書館	10月16日	28人																		
吉川図書館	11月19日	28人																		
10月24日	<p>ア 事業名 すくすくの親子クッキング&おはなし会 イ 会場 吉川健康福祉センター ウ 内容 クッキーづくり、読み聞かせ、手遊び エ 指導 吉川図書館を考える会すすく オ 参加人数 6人</p>																			
11月3日	<p>ア 事業名 古本無料交換会 イ 会場 中央図書館 ウ 内容 本を持ち寄り、参加者同士で自由に交換・交流する エ 参加人数 6人</p>																			
11月3日	<p>ア 事業名 第9回ビブリオバトル in 三木 イ 会場 中央図書館 ウ 内容 ゲーム感覚で行う、本の書評合戦 エ 参加人数 25人</p>																			
11月26日	<p>ア 事業名 よかぼんまつり 2022 イ 会場 吉川図書館 ウ 内容 貸出2倍Day、雑誌ふろくの抽選会</p>																			

		<p>ア 事業名 クリスマスおはなし会&工作 イ 出演 みきおはなし会*絵本の森</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>館名</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>12月3日</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>青山図書館</td> <td>12月10日</td> <td>19人</td> </tr> </tbody> </table>	館名	開催日	参加人数	中央図書館	12月3日	31人	青山図書館	12月10日	19人
館名	開催日	参加人数									
中央図書館	12月3日	31人									
青山図書館	12月10日	19人									
	12月12日～ 1月22日	<p>ア 事業名 吉川高校生によるPOP展示 イ 会場 吉川図書館 ウ 内容 本や映画のPOPと、図書館資料と一緒に展示 エ 展示枚数 11枚</p>									
	12月19日	<p>ア 事業名 すくすくのクリスマス会 イ 会場 吉川図書館 ウ 内容 絵本の読み聞かせ、クリスマスリース作り エ 出演 吉川図書館を考える会すくすく オ 参加人数 8人</p>									
	1月7日	<p>ア 事業名 新春企画 おたのしみ袋2023 イ 会場 青山図書館 ウ 内容 職員と三木北高校生がテーマごとに選んだ本の「おたのしみ袋」(おとな袋25袋、こども袋25袋、三木北高校生6袋)の貸出</p>									
	1月22日	<p>ア 事業名 関西国際大学による「丹波布ワークショップ」 イ 会場 吉川図書館 ウ 内容 コースター作り、くるみボタン作り、リボンのヘアゴム作りのいずれかを選択 エ 講師 丹波布作家 イラズムス千尋 オ 参加人数 21人</p>									
	1月29日	<p>ア 事業名 DVD上映会 イ 会場 吉川図書館 ウ 題名 「コーダ あいのうた」 エ 参加人数 5人</p>									
	リサイクル	<p>6月9日</p> <p>ア 事業名 雑誌・図書のリサイクルコーナー設置 イ 会場 青山図書館 ウ 冊数 雑誌約600冊、図書約700冊</p> <p>6月9日</p> <p>ア 事業名 雑誌・図書のリサイクルコーナー設置 イ 会場 吉川図書館 ウ 冊数 雑誌約590冊、図書約590冊</p> <p>7月15日</p> <p>ア 事業名 雑誌・図書のリサイクルコーナー設置 イ 会場 中央図書館 ウ 冊数 雑誌約740冊、図書約810冊</p> <p>11月11日</p> <p>ア 事業名 雑誌・図書のリサイクルコーナー設置 イ 会場 中央図書館 ウ 冊数 雑誌約1,400冊、図書約730冊</p>									

		11月26日	ア 事業名 雑誌・図書のリサイクルコーナー設置 イ 会場 吉川図書館 ウ 冊数 雑誌約150冊、図書約520冊																				
展示		7月23日～ 8月15日	ア 事業名 第13回 三木飛行場展 イ 会場 中央図書館 ウ 内容 服部武司と永井宏樹が描く三木飛行場等 エ 解説 宮田逸民、服部武司 オ 参加人数 14人																				
赤ちゃんと絵本のふれあい事業～ブックスタート～		年間	ア 乳児健診 ブックスタートパック（絵本2冊、絵本リストなどが入ったコットンバッグ）をプレゼント イ 1歳6か月児健診 絵本リスト・図書館案内等の配布																				
定期宅配サービス		年間	ア 内容 障がいや高齢等の理由で図書館に来館することができない市民に対して、希望の図書を定期的に自宅まで届ける イ 回数 7回 ウ 対象人数 2人																				
おはなし会		年間	ボランティア等による絵本の読み聞かせ <table border="1"> <thead> <tr> <th>館名</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>50回</td> <td>205人</td> </tr> <tr> <td>青山図書館</td> <td>50回</td> <td>278人</td> </tr> <tr> <td>吉川図書館</td> <td>9回</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>109回</td> <td>520人</td> </tr> </tbody> </table>	館名	回数	参加人数	中央図書館	50回	205人	青山図書館	50回	278人	吉川図書館	9回	37人	計	109回	520人					
館名	回数	参加人数																					
中央図書館	50回	205人																					
青山図書館	50回	278人																					
吉川図書館	9回	37人																					
計	109回	520人																					
ストーリーテリング		年間	ア 内容 ボランティアによるお話し イ 回数 10回 ウ 参加人数 29人 エ 会場 中央図書館																				
みきだっこで絵本の会		年間	ア 内容 絵本の紹介、読み聞かせ、手遊び イ 回数 10回 ウ 参加人数 たまご組：4か月から1歳未満の親子7組 ひよこ組：1歳から2歳未満の親子7組 エ 会場 中央図書館																				
手話で本を楽しむ		年間	ア 内容 手話による図書の通訳 イ 回数 10回 ウ 参加人数 16人 エ 会場 中央図書館																				
図書修理		年間	ボランティアによる図書の修理 <table border="1"> <thead> <tr> <th>館名</th> <th>実施日</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>毎週火・金曜日</td> <td>87回</td> <td>548人</td> </tr> <tr> <td>青山図書館</td> <td>毎週火曜日</td> <td>38回</td> <td>119人</td> </tr> <tr> <td>吉川図書館</td> <td>毎月第3火曜日</td> <td>10回</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>135回</td> <td>677人</td> </tr> </tbody> </table>	館名	実施日	回数	参加人数	中央図書館	毎週火・金曜日	87回	548人	青山図書館	毎週火曜日	38回	119人	吉川図書館	毎月第3火曜日	10回	10人	計		135回	677人
館名	実施日	回数	参加人数																				
中央図書館	毎週火・金曜日	87回	548人																				
青山図書館	毎週火曜日	38回	119人																				
吉川図書館	毎月第3火曜日	10回	10人																				
計		135回	677人																				

	図書搬送	年 間	ボランティアによる図書の搬送		
			実施日	回 数	参加人数
			毎週土・日曜日	85回	85人
(6)その他	図書館だよりの発行	毎月1回	新着図書、図書館からのお知らせ、行事予定等を掲載		

人権推進課

1 令和4年度 人権尊重の文化に満ちたまちづくりにかかる事業の実施状況 (令和5年1月31日現在)

(1) 三木市人権・同和教育協議会（三同教）に関すること

【実施状況】

公民館（地推協等）や総合隣保館との連携のもと、市民主体の人権教育・啓発の推進に取り組んでいる。

ア 三同教総会（1回）

役員会（3回、うち1回は3月開催予定）

各専門部会・研修会等（8回、うち1回は2月開催予定）

企画・運営委員会（8回、うち2回は2月開催予定）

三同教研究大会（1回）

イ じんけんサポート（26件）、じんけんスタディ（4件）

ウ じんけんカレンダー（1,000部）

エ 啓発放送（毎月8回）

オ 三同教研究集録、人権・同和教育実践記録集

【成果と課題 今後の改善方法】

昨年度に引き続き、各分科会場に分かれて分科会のみでの研究大会を開催した。参加者からは「いろいろな立場、園所・校種の方と有意義な交流ができた」「行政の話もきけてよかった。三木市の体制を知ることができたのもありがたい」など、よかったという感想が多かった。今後もより充実した研究大会が開催できるよう分科会内容を工夫していく。

今年度はじんけんサポートやじんけんスタディの申請件数が少なかった。大学や高校、自治会等へ三同教の助成事業を周知し、あらゆる人権学習の機会を支援することで人権意識の高揚により一層努めていく。また、「じんけんフォト&メッセージコンテスト」やふれあい事業、啓発放送等、今後も様々な機会をとらえて人権教育・啓発に取り組み、開催方法等の工夫をして活動を推進していく。

(2) 人権教育・啓発事業に関すること

【実施状況】

平成24年度から、全ての公民館に人権推進担当を配置し、人権教育・啓発の一層の推進に取り組んでいる。

ア 人権教育指導員研修会10回

（うち実施予定1回含む）

イ 住民学習指導者・リーダー研修会、住民学習会、地区別研究大会、団体別研修会（※別紙1・2のとおり）

ウ 三木市教育事業

エ 人権教育団体活動助成事業（登録6団体）

- オ 啓発資料作成（ふるさとに生きる vol. 3 2、人権作文集等）
- カ 人権尊重のまちづくり推進強調月間（8月）の取組（ポスター、標語、作文の募集・表彰、街頭啓発等）
- キ 啓発DVD等視聴覚資料の貸出し

【成果と課題 今後の改善方法】

人権尊重のまちづくり推進強調月間において、市民じんけんの集いを開催。市内高校による放送部の司会進行や吹奏楽部のオープニングセレモニー、書道部の題字、美術部のイラストなど積極的な協力があり、若年層の関わりを増やすことができた。また、啓発活動の一環として放送部が録音した啓発内容を街頭啓発カーにて市内アナウンスした。

住民学習では、様々な開催方法に対応できるよう、参加体験型教材や人権問題啓発資料「ふるさとに生きる」、人権啓発DVD一覧などを準備し、各公民館と連携を図った。また、人権教育指導員を中心に地域での様々な学び機会を創造し、人権教育及び啓発活動を推進していく。

(3) 総合隣保館事業に関すること

【実施状況】

市民の社会的、経済的、文化的な生活向上と福祉の増進を図り、同和問題の解決に資するための事業を推進している。

- ア 運営委員会の開催（3回、うち1回は3月開催予定）、相談事業
- イ 地域福祉事業（1回）、教養文化講座開催（3講座）、土曜子ども教室（18回、うち3回は2月と3月に開催予定）、交流ハイキング（1回、3月開催予定）、夏休み子ども教室（5回）
- ウ 啓発事業
 - 同和教育セミナー（3回）、人権フォーラム（3回）、文化祭、視察研修（2回、うち1回は2月に実施予定）
- エ 広報活動事業「隣保館だより」（毎月1回）
啓発冊子「しあわせに生きる」（年1回）
- オ 書籍アーカイブ事業

【成果と課題 今後の改善方法】

総合隣保館文化祭は、今年度も規模を縮小した形で、会場を2か所（総合隣保館及び市民活動センター）に分散して実施した。参加者からのアンケートでは、「部落差別について、わからないままではやめようとする気持ちと、わかり合おうとする気持ちが必要。気づいた誰かが発信し、見直し、何をどう伝えるか考えないといけない」「すべてに感謝され前向きに生きておられる講師の姿に感銘を受けた」「人を認める生き方をしていきたい」など満足できたとの感想が多く寄せられた。

同和教育セミナーは、6月10日、17日、24日に開催した。参加者からは「それぞれが自分らしく幸せに生きていけることが一番大切」「知る、気づく、

行動に移す親であり大人でありたい」など有意義なセミナーであったという意見が多く寄せられた。

人権フォーラムは、10月18日、21日、25日に開催した。参加者からは「知らずに差別をしてしまうかも知れないと自分の弱さを認めつつ学びながら成長していきたい」「相手を大切にするために弱い自分を見つめることが大切」「人は多くの人とかかわり、つながっていくことで成長していけると感じた」など満足できたとの感想が多く人権意識を高める貴重な学びの機会となっている。今後も感染症対策を徹底し、開催方法等工夫をこらし事業を推進していく。

2 令和5年度 人権尊重の文化に満ちたまちづくりにかかる事業の実施計画

これまでの人権啓発の取組を継続するとともに実施方法の工夫、指導者育成の強化、各地区における事業の活性化等により、人権尊重の文化に満ちたまちづくりにかかる事業の充実を図る。

令和4年度 各地推協活動実施状況集計

令和5年2月13日現在

【別紙1】

		三木地区	三木南地区	別所地区	志染地区	細川地区	口吉川地区	緑が丘地区	自由が丘地区	青山地区	吉川地区	計
地推協総会 (※書面開催を含む)	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	8
	参加者	62	14	41	50	64	28	37	37	21	21	317
指導者研修会 リ－ダ－研修会	回数	2	2	2	3	2	3	3	3	4	1	23
	参加者	103	89	89	144	132	117	127	117	101	74	1004
※別紙2のとおり												
団体、サークル等学習	回数	2	2	3	1	1	1	5	10	5	2	32
	参加者	106	52	65	31	8	15	240	179	65	73	834
研究大会等	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
	参加者	300	34	68	63	55	56	101	85	29	150	941
視察研修等	回数				1	2	1			1		5
	参加者				22	31	18			24		95
合計	回数	6	4	7	7	7	7	9	15	11	5	78
	参加者	571	100	263	310	290	234	468	418	219	244	3117

⇒2・3月に実施予定あり

【別紙2】

地区	主な学習テーマ	教材	回数	参加者数
三木	人権が尊重される明るく住みよい地域づくりをめざして	啓発DVD「夕焼け」他 姫路市研修資料等	40回	972名
三木南	人権感覚あふれる三木南地区をめざそう	啓発DVD「夕焼け」ほか	23回	225名
別所	すべての人の人権が尊重される明るく住みよいまちづくり	①啓発DVD「夕焼け」を活用した学習 ②YouTube動画「りんごの色～LGBTを知っていますか～」を活用した学習 ③外国にルーツをもつ方の人権について	① 9回 ② 5回 ③ 1回	① 161名 ② 172名 ③ 14名
志染	ヤングケアラー 地域の人権活動	啓発DVD「夕焼け」 人権劇「村にバスがやってきた」	12回 1回	177名 26名
細川	ヤングケアラー 8050問題 同和問題 性的マイノリティの方の人権	自治会ごとに開催方法・教材を選択 ①「夕焼け」 ②「カンパニユラの夢」 ③「土農工商はなかった」 ④「ふるさとに生きる」 ⑤法務省ネット動画等	22地区 330回 349家庭	491名
口吉川	人権を大切にす る 明るい地域づくりをめざして	啓発DVD「夕焼け」他	12回	362名
緑が丘	・身近な人権問題を考える ・人権文化、豊かなまちづくりに向けて	啓発DVD 「夕焼け」 「カンパニユラの夢」	9回	166名
自由が丘	・人権感覚の豊かな人になろう ・参加体験型住民学習館外視察研修	①啓発DVD「夕焼け」の視聴とグループ討議 ②岡山市人権啓発センター、渋染一揆資料館	① 13回 ② 1回	① 205名 ② 21名
青山	人権が大切にされ、明るく住みよいまちづくりを進める	啓発DVD「夕焼け」他 視聴	6回	120名
吉川	各自治会でテーマを選択 基本テーマは「ヤングケアラー」	啓発DVD「夕焼け」他 人権啓発資料「ふるさとに生きる」等	41回	559名

令和5年度 東播磨・北播磨地区社会教育委員協議会事業計画予定

事 項	日 時	場 所	内 容
第1回幹事会・事務担当者会	5月9日(火) 14:00~16:00	兵庫県 加古川総合庁舎	令和4年度事業・決算・報告 令和5年度役員選出について 令和5年度事業計画(案)予算(案) 総会議案について
総会	6月29日(木) 13:30~16:10	加古川市 東加古川公民館	総会 顕彰 令和4年度事業・会計決算・監査の報告 令和5年度役員・事業計画(案)・予算(案) の審議、決定 講演 演題 「(仮) これからの社会教育委員について」 講師 高野山大学 特任教授 今西 幸蔵
第2回研修会 (社会教育団体合同 研修会)	7月8日(土) 13:30~16:10	多可町文化会館 (ベルディホール)	東播磨・北播磨地区社会教育振興大会 講演 演題 「(仮) 部活動の地域移行について」 講師 兵庫教育大学 教授 森田 氏
第2回幹事会 (東・北公連と合同)	7月25日(火) 13:30~16:00	西脇市 総合市民センター	第3回研修会について 近畿大会・全国大会について
第3回研修会 (東・北公連と合同)	10月19日(木) 13:30~16:00	西脇市立音楽ホール アピカホール	演題 「未定」 講師 未定
第3回幹事会・事務担当者会	3月1日(金) 13:30~14:45	兵庫県 加古川総合庁舎	令和5年度事業報告・決算見込報告 令和6年度事業計画(案)・予算(案)について
監査会	3月22日(金) 10:00~11:30	兵庫県 加古川総合庁舎	令和5年度会計監査

令和5年度 兵庫県社会教育委員協議会関連日程予定

☆県総会・研修会：5月22日(月) 神戸市 兵庫県民会館

☆県研究大会：11月29日(水) 神戸市 兵庫県民会館

☆近畿大会(滋賀大会)：9月上旬 滋賀県草津市内

☆全国大会(宮崎大会)：11月8日(水)~10日(金) 宮崎県宮崎市 宮崎市民文化ホール